

移住者受入れのための公民連携型空き家活用モデル事業(全国空き家バンク推進機構)

課題と目的	空き家活用のノウハウや人材の不足、行政内の部署間、行政・地域・ビジネス間の連携欠如の解消を図り、移住促進に繋がる空き家活用のモデル創出を目指す
取組内容	①ZABと三重県が協働で行政及び民間を対象とした研修会の開催、②ワークショップの実施、③先進事例の共有、④空き家活用に前向きな市町との協議
成果	①研修受講による空き家問題の理解度向上、②行政及び民間の連携に向けた機運醸成、③先進事例の共有による参加者の意識改革、④市町での具体的な取組に向けた協議の開始

取組内容

① 行政及び民間を対象とした研修会の開催(計4回)

空き家活用の知見、経験等を有する講師を招き、座学研修を開催



② ワークショップの実施(計2回)

南伊勢町の課題解決をテーマとした座学ワークショップと現地ワークショップを研修会と連動する形で実施



③ 先進事例の共有

空き家再生と移住促進の知見を有する専門家との協議、現地視察を通じた調査、研究を行い、行政及び民間と共有



④ 空き家活用に前向きな市町との協議

研修会の開催を通じて市町の取組姿勢を活性化させ、空き家活用に前向きな市町の発掘を行い、課題の抽出、解決に向けた行程等について、市町と協議

主な成果

① 研修受講による空き家問題の理解度向上

空き家活用の知見、経験等を有する講師を招き、座学研修を開催することで、受講した参加者の理解度が向上した。

② 行政及び民間の連携に向けた機運醸成

ワークショップ実施を通じて、「空き家問題」という共通の課題に取り組む参加者の相互理解を促進させ、解決策の共有など連携に向けた機運醸成が図られた。

③ 先進事例の共有による参加者の意識改革

講師による紹介事例に加え、専門家との協議、現地視察の内容を共有することで、参加者の意識改革を図った。

④ 市町での具体的な取組に向けた協議の開始

今後、座学にとどまらず、市町での取組を加速させるため、空き家活用に前向きな市町との間で活発な協議を行った。その結果、南伊勢町が来年度に取組を加速させる方向で検討に入っている。